モンゴル国ゴビ地域の白亜系と恐竜化石の産状

石井健一*・R. バースボルド**・林原自然科学博物館-モンゴル科学アカデミー地質学研究所共同古生物学調査隊

Ken-ichi Ishii*, R. Barsbold** and Hayashibara Museum of Natural Sciences-Geological Institute, Academy of Sciences of Mongolia Joint Paleontological Expedition Team: Cretaceous sediments and occurrence of dinosaur fossils in the Gobi Desert, Mongolia

1995年1月27日受付・受理

* 林原自然科学博物館準備室

** Geological Institute, Academy of Sciences of Mongolia

1993年から始まった日本-モンゴル古生物学共同調査によってモンゴル国ゴビ地域の白亜系より恐竜化石を始めとする多数の脊椎動物化石を発見することができた。ここでは恐竜化石を産出した白亜紀層と化石の産状を中心に紹介する。これらの化石は主に河川の堆積物中から発見され、完全骨格はもとより関節のつながった骨格はまれである(第1~3図)。その一方、中部ゴビのツグリキンシレに分布する上部白亜系のジャドフタ累層の風成層からは、埋没当時の姿勢を残した現地性の恐竜の完全骨格を数多く発見することができた(第5~6図)。

第1図. 西部ゴビ、ネメグトに分布する上部白亜系のバルンゴヨット累層(BG)とその上位に整合的に重なる上部白亜系最上部のネメグト累層(NG)(主に河川成堆積物)。

第2図. 東ゴビ、フレンドッフに分布する下部白亜系最上部層(Apt.-Alb.?)の砂岩層から発見された鳥脚類 "*Iguanodon*".

第3図. 西部ゴビ、ブギンツァフに分布する上部白亜系ネメグト累層の河川成砂岩層から産出した大型獣脚類 *Tarbosaurus*、関節した腸骨と椎骨のまわりに風化した四肢骨が散乱している。

第4図. 西部ゴビ, ヘルミンツァフ II に分布する上部白亜系バルンゴヨット累層相当層?の赤色細粒砂岩からなる風成層(崖の比高約10m).

第5図. 中央ゴビ, ツグリキンシレに分布する上部白亜系ジャドフタ累層の白色細粒砂岩からなる砂丘堆積物. 現地性の保存良好な恐竜化石を多数含む.

第6図. 中央ゴビ, ツグリキンシレの細粒砂岩層から産出した恐竜化石.

- a. 小型獣脚類 *Velociraptor* の左前肢骨.
- b. 角竜類 *Protoceratops* の幼体化石. 眼窩が大きく, えり飾りが未発達.
- c. ほぼ直立した産状を示す角竜類 *Protoceratops*. 下部には剖出された腸骨と大腿骨の一部が見える.